

イベント（講演）名	平成 18 年度第 2 回 IT 交流プラザ 「クリエイターズセミナー①」
主 催	郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会 (財) 郡山地域テクノポリス推進機構
開催又は実施年月日	平成 18 年 5 月 31 日（水）
開催又は実施場所	ビッグパレットふくしま（郡山市）
参加人員	約 60 名

Web サイト制作に係る技術は日々進歩し、求められる技術は多岐に渡っており、最新の情報収集や技術的な学習は必要不可欠になっております。そのような背景を踏まえ、圏域内で活躍するクリエイターのスキルアップ支援と、ホームページの利活用を図るため、またこのクリエイターズセミナーを通して、今年度のホームページコンテストを活発に盛り上げていただくため、年 5～7 回とシリーズ化したクリエイターズセミナー及びフォーラムを開催することとなりました。

第 1 回目は、「これからの Web のあり方」と題したセミナーを開催いたしました。

●セミナー「これからの Web のあり方」

講師：株式会社 リアルインデックス 代表取締役 二瓶 崇 氏

コーディネーター：エヌケー・テック株式会社 代表取締役 内藤 清吾 氏

圏域内でも Web プロデュースの会社として最先端をいく(株)リアルインデックスの二瓶 崇氏を講師に迎え、「これからの Web のあり方」と題し、Web2.0 の傾向とビジネス手法について、講演していただきました。

まず、Web2.0 とは明確に定義されているわけではなく、「インターネット上で起きている新しい Web の変化と方向性を表現した」概念的なものであり、何かをバージョンアップするなどではない。

技術がなくても個人が情報発信できるブログや Wikipedia のように、ユーザーが参加してページをつくりあげていくサイト、amazon のように、自分の好みも蓄積されてページに反映されるようなサイトなどが Web2.0 的と言われている。Web2.0 の特徴は、「プラットフォームとしての Web」ということで、生活の基盤になるものが Web にうつっていくだろうという考え方であり、Web 上でさまざまなサービスを楽しむことができるようになる。また、企業から押しつけられた情報ではなく、自分の情報は自分でコントロールできるようになる。Web2.0 企業では、アプリケーションソフトではなく、サービスの提供や参加型の仕組みを提供し、またそのサービスが費用対効果に優れて拡張性がある。そしてその拡張性が最も重要なのではないか。他に、リミックス可能なデータソースとデータの可変性、デバイスフリーや集合知を利用していくというのが、Web2.0 企業の特徴である。

さらに「ロングテール現象」について説明し、今まで、パレートの法則によれば、上位 2 割の商品が全体の 8 割を占めるというマーケティングの法則が成り立ってきたが、インターネット上では、このパレートの法則があてはまらず、売れている上位 2 割よりもその他 8 割の方が、上回っているという現象が起きている。これは、例えば一人一冊しか買わない本でも、100 万人買えば売上がたつということであり、インターネット利用者の拡大そのものを表しているということである。Web2.0 的企業で、利益をあげている企業は、このロングテールをとりについて利益をあげており、Web2.0 時代で成功するには、このロングテールという考え方は、非常に重要であるとのことでした。



(株)リアルインデックス 二瓶崇氏



次に、Web2.0 時代におさえておきたい技術「マッシュアップ」(=リミックス) について説明をし、マッシュアップとは、公開されている Web サービスやデータソースを組み合わせ、独自のコンテンツを作る手法であり、今後、この技術は大変重要となってくるとのことでした。

必ずしも Web2.0 的なサービスを提供したからと言って成功するわけではなく、これから成功するかわからないが、ユーザーの圧倒的な支持を得ているこの Web2.0 という流れ

は今後も続くものであろうとのことでした。

最後に、二瓶氏が考える Web2.0 時代に対する自身の考えを述べられ、Web2.0 時代において、どこでビジネスをするかということは考え方によってはたくさんあり、Web2.0 的サービスをデータ・サービスの部分で提供する企業であったり、Find Job などといったサイトのように、マッシュアップ企業であったり、または、セキュリティに特化したサービスを展開する企業であったりなど、いろいろなビジネスシーンが Web2.0 時代では考えられる。どのような場面でビジネスを展開するにしても、現在 Web2.0 的サービスを提供する企業の成功例をみると、データの収集からはじまり、そのデータに付加価値をつけ、そこからロングテールを獲得し、収益を得るというビジネスモデルが伺える。

いずれにしても、自分が楽しんで仕事をできれば力を発揮もできるので、Web や IT 全体でたくさんのフィールドで楽しいを思える場所で活躍してほしいと、二瓶氏はおっしゃっていました。

その後の質疑応答では、コーディネーターの内藤氏から「SEO とデザインの反比例についてどう思うか」という難しい質問にも、Web を広告宣伝ととらえるならば、SEO に特化したサイトにするのもいいが、Web をビジネスの一つの投資として考え、長いスパンで見れば SEO よりもやるべきことがあるのではないかというスタンスに立つことも大事と、自身の考えを誠実に述べられ、また参加者の学生さんからの「Web 2.0 についてのデメリットは」という質問や「アフィリエイトの収益が下がっていることについてどう思うか」などといった質問にも、丁寧に答えていらっしゃいました。

さらにコーディネーターの内藤氏より、次回の講師であるトリココの三阪丈晴氏の紹介や、次々回の講師である國分亨氏の紹介などあり、それぞれ自身の得意とする分野での話を今後クリエイターズセミナーで行ってくれるとのことでした。



エヌケー・テック(株) 内藤清吾氏